



台風18号の襲来で過去最大水位となった天野川(平成29年9月18日12時ころ撮影)



「自分だけは大丈夫」「前例がないから大丈夫」は危険 避難情報が発表された場合は、ただちに避難を

9月は一年を通じて最も降雨量が多くなる季節です。昨年台風18号が最接近した際は、天野川が決壊寸前まで水位が増し、道路の通行止めや床下浸水の被害が発生しています。

また、今年7月に発生した西日本豪雨では、気象庁などが警戒、避難を呼びかけていましたが、「自分だけは大丈夫」との思い込みから避難が遅れた事例が多数発生し、多くの命が失われています。

今後も記録的豪雨が増える可能性がありますので、降雨によってもたらされる洪水・土砂災害の適切な対応方法について紹介します。

洪水とは

洪水は、上流部での短時間の降雨量が多い時、または、融雪時に降雨と気温上昇が重なった時など発生リスクが高まります。

はん濫も堤防からあふれ出たり、決壊することで発生する「外水はん濫」と本流の水位が高くなったため支流などが排水できなくなることで生じる「内水はん濫」の2種類があり、昨年、台風18号の際に発生した床下浸水は内水はん濫が原因です。

土砂災害とは

土砂災害は、該当箇所周辺での短時間の豪雨もしくは連続した降雨によって土砂崩れや地すべりの発生リスクが高まります。

洪水の場合は、町の発令に基づいて行動する必要がありますが、土砂災害の場合は、この事に加え、前兆現象を確認した段階で避難をする必要があります。

前兆を気象予報で確認

災害の発生が予想される場合、気象庁から気象情報や町から避難情報が発令されることから、このことに基づき行動が必要となります。

気象情報と避難情報の関係

●気象情報

特別警報

◎町から避難勧告や指示が発令される。少しでも安全な場所へ移動し、冷静に周囲の状況に応じた行動をとる。

警報

◎町から避難情報が発令される可能性があり、勧告や指示が出された場合は、速やかに避難する

注意報

◎今後、さらに悪化する予報が出ている場合は、持出品などをまとめて避難準備をはじめます。

●避難情報

～次ページ参照

気象情報から総合的に判断し、町が発令します。

洪水・土砂災害時の指定避難場所一覧

施設名	災害種別ごと適否		施設名	災害種別ごと適否	
	洪水	土砂		洪水	土砂
神明地区集会施設	○	○	上ノ国小学校	×	○
旧湯ノ袋小学校	○	○	北村コミュニティセンター	○	○
湯ノ袋生活改善センター	○	×	向浜生活改善センター	×	○
宮越地区農業担い手センター	○	×	上ノ国中学校	×	○
早瀬生活改善センター	×	×	上ノ国町高齢者能力活用センター	○	○
桂岡生活改善センター	○	○	日本海情報交流館「文珠」	○	○
河北小学校	×	○	原歌生活改善センター	○	×
女性活動支援センター	○	○	大崎生活改善センター	○	○
小森生活改善センター	○	×	木ノ子児童館	×	×
豊田生活改善センター	○	○	滝沢小学校	○	×
ハンノキ地区コミュニティ施設	○	○	扇石地区多目的集会施設	○	×
大留生活改善センター	×	○	汐吹生活館	○	○
上ノ国高等学校	○	○	旧早川小学校	○	×
上ノ国町総合福祉センター	×	○	石崎地区集会施設	○	○
上ノ国町スポーツセンター	×	○	旧小砂子小学校	○	○

※早瀬地区・木ノ子地区については、洪水・土砂災害に対応した避難所がありません。隣接する地区の避難所に避難することとなります。

